

# 「つーちゃん」着ぐるみ人気

## 2メートル超、精巧なつくり

県立津山商業高校（津山市山北）のマスコットキャラクター「つーちゃん」の着ぐるみを、同高の女性事務職員の長男で小学5年の牧原直太朗君（11）が手作りした。「みんなを驚かせてやろう」と思い立った牧原君は昨秋以降、自作の着ぐるみを身につけて同高のイベントに登場。リアルな出来栄えが話題を呼んでいる。同高生徒会は今後も牧原君にイベントへの参加を呼びかけていく。

つーちゃんは津山商高の校章の鶴がモチーフ。2009年、生徒会の



津山商業高校のマスコットキャラクター「つーちゃん」 同高提供

つーちゃんは津山商高の校章の鶴がモチーフとして、生徒全員から公募したデザインの中から生まれ。タオルやエコバッグ、ポロシャツなどに採用されるなど、シンボルになっている。

昨秋、同高のイベントに、着ぐるみを着た牧原君が訪れた。身長150センチの牧原君の頭に長さ約75センチのつーちゃんの首がのる。2メートルを超える大きさや精巧なつくりで「すごい」



津山城であった津山商業高校のイベントで地元のゆるキャラと記念撮影するつーちゃん 昨年11月、同高提供

### 母親が同高職員 工作得意、小5牧原君手作り

つーちゃんの着ぐるみを手作りした牧原直太朗君 津山市山北



「どうやってつくったの」と生徒から声が上がった。

工作が得意な牧原君。ヘルメットや段ボール、ゴムボールなどを使い、つーちゃんの頭を2日ばかりでつくりあげた。大きめの白色シャツと黒色の靴下を身につけ、つーちゃんになりきる。

これまでに文化祭などのイベントに3回登場し、人気者になっている。生徒会長の松下友香さん（2年）は「つーちゃんに愛着がもてるようになった。もっと学校に来てほしい」と話す。牧原君も「もっとみんなを驚かせたいし、喜ばせたい」と意気込んでいる。（山下周平）